

平成29年度 第33回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は、保育所保育指針（平成20年3月告示）の「表現」のねらいである。（ ）に該当する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) いろいろなものの（ ）などに対する豊かな感性を持つ。
 (2) 感じたことや考えたことを（ ）に表現して楽しむ。
 (3) 生活の中で（ ）を豊かにし、様々な表現を楽しむ。
- ア 形 イ 自分なり ウ 美しさ エ 個性的 オ イメージ
- 2 次の文は、幼児画の特徴について説明したものである。最も関係の深い語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 道をはさんだ両側の家が、道の外側に倒れたように描く。
 (2) 自動車を横向きに描き、見える側の2つのタイヤに、見えない側のタイヤを加えて描く。
 (3) 近いものは下側に描き、遠くの上側には描く。
- ア 正面構図 イ 折半式構図 ウ 積み上げ遠近構図
 エ 多視点構図
- 3 描画材について、次の文のうち正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) ポスターカラーは、透明絵の具の一種であり、伸びが良く広範囲にむらなく塗ることができる。水分を多くいれて溶くと透明感がでる。
 (2) 色鉛筆は、顔料を接着剤で固めたものである。材質が硬いので、繊細な表現ができる。
- 4 次の文は、表現技法について説明したものである。その名称を答えなさい。
- (1) 紙コップの底を版にして、絵の具をつけて紙の上に押す。
 (2) 木の葉を紙の上に置き、金網とブラシを使い絵の具を霧状にして吹きかける。木の葉ははずすと、形が現れる。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成29年度 第34回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は、保育所保育指針（平成20年3月告示）の「表現」の内容の一部である。

() に該当する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 水、砂、土、()、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。
- (2) 様々な出来事の中で、感動したことを() 楽しさを味わう。
- (3) いろいろな素材や用具に親しみ、() して遊ぶ。

ア 共感する イ 工夫 ウ 伝え合う エ 紙 オ 表現

2 次の表現技法について、組み合わせが正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。

- ア スクラッチ・ひっかき絵 イ デカルコマニー・貼り絵
- ウ バチック・はじき絵 エ マーブリング・吹き流し
- オ コラージュ・合わせ絵 カ フロッタージュ・こすり出し絵

3 次の文に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 左右対称形のこと、動きが安定し、まとまった印象を受ける。
- (2) 色や形が、だんだん変化したり繰り返されるなど、秩序のある動き。

ア バランス イ シンメトリー ウ リズム エ アシンメトリー

4 次の文は、描画材について説明したものである。() に該当する語句を答えなさい。

クレヨン、顔料と(1)が原料であり、パスに比べて(2)を描くのに適している。パスは、顔料と油脂が原料で、(2)描きと面塗りの両方に適している。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	(1)	(2)	(3)	順不同			(1)	(2)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第35回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 幼児の造形活動の素材について、(1)~(3)に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

造形活動に用いる素材は、粘土や(1)などのように幼児の働きかけで変化する(2)性の高いものがよい。自然物や(3)などもよく、安全であること、身近にあって手に入りやすく安価であることも大切である。

ア イメージ イ 廃品 ウ 紙 エ 可塑 オ 模倣

2 次の語句に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 異方向同存式描法 (2) レントゲン描法

ア 家の中の人や土の中の虫など、実際に見えないものを描く。

イ 近くのものを手前に描き、遠くのものはその上に積み上げて描く。

ウ バスを横向きに描き、見える側のタイヤだけでなく、見えない側のタイヤも描く。

3 次の文の下線部が正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

(1) 幼児が絵の具を使用する場合、不透明絵の具が適している。

(2) バスは顔料を油脂で固めたものである。

(3) 色鉛筆は顔料をロウで固めたものである。

4 次の文は、表現技法について説明したものである。その名称を答えなさい。

(1) 水面に墨汁を浮かべて、紙をかぶせて模様を写しとる。

(2) ラップの芯などにたこ糸を巻きつけ、絵の具をつけて、紙の上を転がす。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2		3			4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 幼児の造形表現の指導法について、() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 幼児の造形表現を活発にするための第一条件は、豊かな材料、() など環境づくりである。
- (2) 幼児の造形表現は() を引き出すことが大切なので、押しつけや教え込みにならないように心がける。
- (3) 作品のできばえにとらわれず、幼児が自由にのびのびと表現する() を味わっているかに配慮する。
- ア 過程 イ 自発性 ウ 伝達 エ 用具 オ 模倣
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) コントラストは対照ともいい、相反する色や形を組み合わせることにより互いの特性を強めあうことである。
- (2) 比例をバランスといい、美しい比例の代表的なものに黄金律がある。
- (3) 色や形がだんだん変化したり、繰り返されたり、連続的な秩序ある動きをアシンメトリーという。
- 3 次の文は粘土について述べたものである。粘土の名称を答えなさい。
- (1) パルプとのかさを原料にしたもので、乾くと着色もできる。
- (2) 熱を加えて柔らかさを調節するので、寒い日には扱いにくい。
- 4 次の文に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 自分より小さい「人形」を、自分より大きく描く。
- (2) 足は横向き、顔は前向きに描く。
- ア 折半式構図 イ 集中構図 ウ 正面構図 エ 多視点構図

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第37回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示)満3歳以上の「表現」の内容について、()に該当する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 生活の中で(①)ものや心を動かす出来事に触れ、(②)を豊かにする。
 (2) いろいろな(③)に親しみ、工夫して遊ぶ。
 ア 美しい イ 生活 ウ 関心 エ イメージ オ 素材
- 2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) デカルコマニーとは、紙と紙の間に絵の具を挟み込み上からこすると左右対称の絵ができる技法である。
 (2) バチックとは、水面に墨汁などをたらし、その上から紙をかぶせて模様を写しとる技法である。
 (3) フロッタージュとは、凹凸のあるものの上に紙を置き、鉛筆などでこする技法である。
- 3 幼児画の特徴について、(1)・(2)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) レントゲン描法 (2) 基底線構図
 ア 自分が興味を持ったものや印象に残っているものを大きく描く。
 イ 画面の下方に1本の線をひき、その上に人や建物を描く。
 ウ 目に見える外部と見えない内部を混在させて表現する。
- 4 次の問いに答えなさい。
- (1) 滑らかで感触はよいが、腐敗しやすく、保存が難しい粘土を何というか。
 (2) 顔料を接着剤で固めたものを、木製または紙巻きの軸に収めた画材を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	①	②	③	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第38回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示)満3歳以上の「表現」の内容の取り扱いについて、()に該当する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
 (1) や発達に応じ、自ら様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させることができるように、遊具や用具などを整えたり、他の幼児の表現に(2)よう配慮したりし、表現する(3)を大切にして自己表現を楽しめるように工夫すること。
 ア 生活経験 イ 模倣する ウ 過程 エ 触れられる オ 観察
- 2 次の文は幼児の造形活動に用いる素材について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
 (1) 粘土や紙などのように可塑性の高いものがよい。
 (2) コンテは、顔料と油脂できており、のびが良く面塗りに適している。
- 3 表現技法について、(1)~(3)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
 (1) 布や紙などいろいろな材料を切り抜いて組み合わせ、貼り合わせた絵。
 (2) 型紙の上から絵の具をスプレーしたり、パスで塗り込む。
 (3) 明るい色のクレヨンの上に黒いクレヨンを重ね塗りし、上からクギなどでひっかく。
 ア ステンシル イ ローリング ウ スクラッチ エ コラージュ
- 4 次の文は幼児画の特徴について述べたものである。構図の名称を答えなさい。
 (1) 近くのを手前に描き、遠くのは手前のものの上へ描く。
 (2) テーブルの周りに人物を展開図のように描く。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2		3			4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------